

すべての子どもが 「おかやまに生まれ、育ち、本当に 良かった」と思える未来に向けて



次代を担う子どもは県民の宝・岡山の希望です。無限の可能性を持つ子どもたちが、将来に夢を描くことができる社会にすることは、私たちに課せられた大切な責務でもあります。

しかし、その宝・希望となる子どもたちは減少の一途をたどっています。国においては、2016年以降3年連続で年間出生数が100万人を割り込み、2019年は90万人を下回る事となりました。本県における出生数も8年連続で減少するなど、我が国の少子化は、まさに待ったなしの対策が必要な状況です。少子化の要因は、結婚、出産、育児、教育、就業環境などあらゆるステージに及んでおり、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに社会全体で取り組まなければなりません。

また、今年度から幼児教育・保育の無償化が始まる中、保育のニーズに対応するための方策や、社会的養護を必要とする子ども、経済的な困窮や虐待など、困難を有する子どもやその家族への支援も急務となっています。

こうした中、少子化の流れを変えることを目指すとともに、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子育てを地域全体で支え応援する社会づくりを進めるため、総合的な計画として「岡山いきいき子どもプラン2020」を策定いたしました。本計画では、出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまでライフステージに沿った施策を切れ目なく展開するとともに、困難を抱える子どもや家庭に寄り添う施策、子育てと仕事が両立できる環境整備に関する施策を示しております。

今後、家庭や地域、学校、企業、関係団体など、さまざまな担い手と密接に協働しながら本プランを推進し、「おかやまに生まれ、育ち、本当に良かった」と思える社会の実現に向け、県民一丸となって取り組んでまいりますので、皆さまのご協力とご参加をお願いいたします。

令和2(2020)年3月

岡山県知事 伊原木 隆太